

# 2017年度 戦略・活用委員会 成果報告

## 『中国特許活用会社/NPE/特許連盟 に関する調査研究』



2018年3月13日

中国IPG 戦略・活用委員会

小林義典(パナソニックR&D蘇州有限公司)

# 0. 委員会メンバー

## 10社

<b>ソニー(中国)有限公司</b>	<b>北京</b>
<b>キヤノン(中国)有限公司</b>	
<b>松下電器研究開発(中国)有限公司</b>	
<b>三菱電機(中国)有限公司</b>	
<b>東芝(中国)有限公司</b>	
<b>富士電機(株)北京事務所</b>	
<b>森・濱田松本法律事務所</b>	
<b>北京林達劉知識產權代理事務所</b>	
<b>上海金天知的財產代理事務所</b>	<b>上海</b>
<b>松下電器研究開発(蘇州)有限公司</b>	

# 1. 現状認識と課題

## 2016年度活動での認識

### NPE/PAの活動可能性大

- ・特許譲渡の活発化
- ・政府バックアップで運用、取引の促進
- ・法制度改定の兆し(賠償金増額)

### 毎年、継続的に観測が必要

#### 情報収集

- ・WEB上での定点観測(KW・個社名)  
講演会、譲渡特許、無効審判、侵害訴訟、  
米国NPE出身帰国者、政策、法制度、等
- ・年表作成

#### 特許情報分析

- ・特許譲渡情報の確認(授受の両面)  
特定企業\*「特許法律状態」の監視

## 2. 調査目的

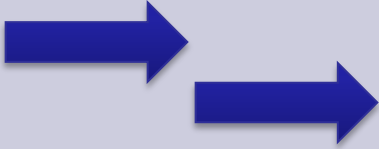



**NPE/PAの動向の情報収集及び分析により、  
適格にその実態とリスクを把握する**



- ・情報収集のリソースを見極める
- ・インタビューによる生情報を集める

# 3. 調査研究方法

## 当初目論見

活動項目	取り組み	日程	着地見込
最新情報調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>•WEB/論文等調査</li> <li>•調査手法の改良</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>•最新情報収集</li> </ul>
抽出済み候補の見極め	<ul style="list-style-type: none"> <li>•企業情報+知財情報+WEB情報等で判断</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>•見極め →定点観測へ</li> </ul>
PAの動向調査(特定PA)	<ul style="list-style-type: none"> <li>•PAへのインタビューTRY</li> <li>•WEB情報監視</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>•活動状況把握</li> </ul>
関係会社等のヒアリング	<ul style="list-style-type: none"> <li>•P社、G社・・・</li> <li>•弁護士事務所・・・</li> </ul>	偶数月で設定 	<ul style="list-style-type: none"> <li>•各社活動把握</li> <li>•NPE動向把握</li> </ul>

# 4. 研究に基づく成果

## ① NPE/PA最新情報調査

『NPE/PA年表』のupdateも含む

WEB調査(定例)	Baidu、微信、SIPO-HP、新聞・雑誌でのKWでの情報収集。 毎月定点観測→情報蓄積
法令調査	中央10・地方25の法令をKWで抽出。 『特許運営支援・強化・規制』等に関する条文を確認

## ② 有識者へのヒアリング

ご協力感謝いたします!

K事務所様  
(6.14)

P社様  
(8.23)

G社様  
(9.21)

# 4. 研究に基づく成果

項目	わかったこと (抜粋)
中国でのNPE	<ul style="list-style-type: none"><li>・<b>類型</b>: ①大学・研究機構 ②特許運営機構 ③米国型NPE ④特許活用会社(自社研究+特許権購入)</li><li>・まだ活発ではないが、増大傾向(2-3年後?)</li><li>・中国orientedの機構・企業も多く興ってきている</li><li>・訴訟は司法ルートだけでなく、行政ルートも使っている</li><li>・「特許技術の提供」を行う組織が主流</li></ul>
国家・地方での運用加速の制度整備	湖北省、河北省、厦門(福建省)、陝西省 →交易体制の構築・整備、基金の設立、等
特許連盟の動向	<ul style="list-style-type: none"><li>・現時点、未ださほど活発ではない</li><li>・ただ団体自体は増大している。要継続監視</li></ul>

- **定点観測の継続**
- **情報収集、特許情報分析等を通じ、  
自社関連事業分野でのNPEの存在を把握  
し、その動向を監視すること  
また、その対抗策を講じておくこと**



## 6. 積み残された課題

### 継続

- WEB・訴訟情報等の定点観測
- インタビュー(有識者・関係各社)

### 積み残し

- 特許法律状態情報からの譲渡動向分析  
(手法整理、要注意NPE抽出)
- 抽出済み候補に対する評価

2018年度も委員会継続予定

**ご清聴頂き、ありがとうございました**

**メンバーの皆さん、  
一年間ご苦労様でした！**